

2019年12月14日 ~ 2019年12月20日

2019年12月24日

### 先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

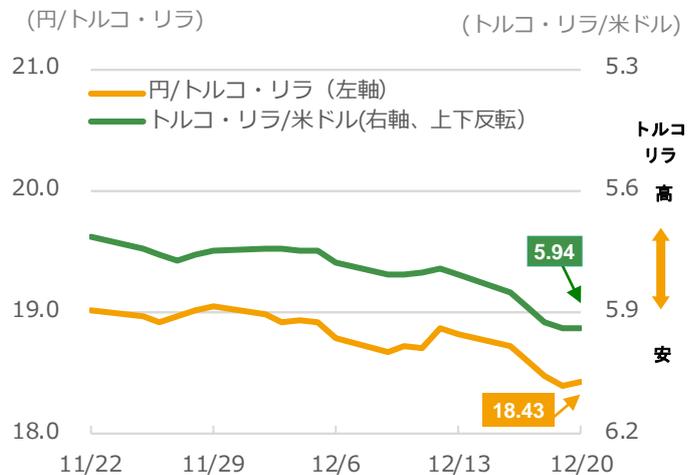
前週末に米上院が、トルコのオスマン帝国時代のアルメニア人殺害を「大量虐殺」と認定する決議を行ったことに対して、エルドアン大統領が強く反発し、トルコ国内の米軍基地を閉鎖する可能性に言及したことにより対米関係の悪化が懸念されました。また、ダウトオール元首相が新党を設立したことで、エルドアン大統領の政治的求心力の低下が浮き彫りとなりました。さらには、トルコ当局が銀行の一部の為替取引制限を強化するとの報道が流れ、これら複数の要因を受けて、トルコ・リラは対米ドル・対円ともに下落しました。

### 今週の見通し

今週は、トルコ国内では注目度の高い経済指標の発表は予定されていません。トルコ国外では、クリスマス休暇で市場が休場となる場所が多く、市場が閑散となることから、トルコ・リラの流動性も低下すると考えられます。足元では、世界的な投資家のリスク選好姿勢はトルコ・リラにとってのサポートとなる一方で、トルコ独自の悪材料が続いています。そのため、流動性が低下する環境では、トルコ・リラの下方リスクに警戒が必要だと考えています。

### トルコ・リラ 為替推移

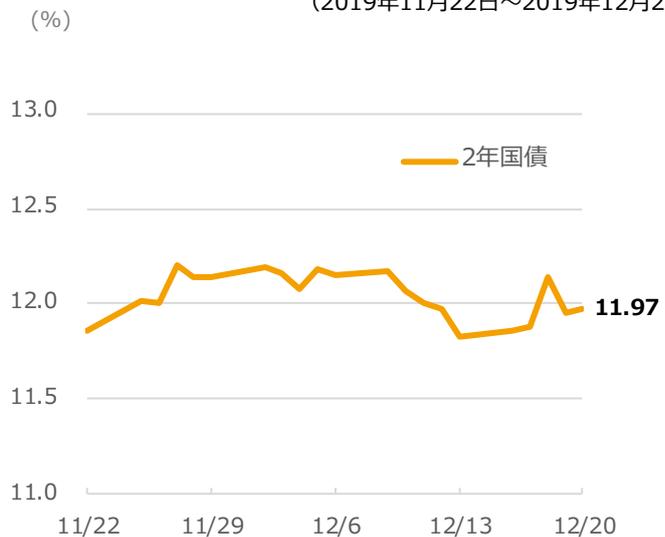
(2019年11月22日~2019年12月20日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### トルコ 金利推移

(2019年11月22日~2019年12月20日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。